

個別事業(取組)評価				
事業No,	21	施策の柱への位置付け	柱③ 幼児教育改革	
事業名称	親育ち支援保育者育成事業		担当課	幼保支援課
			当初予算額(千円)	1,220
			補正後予算額(千円)	-
			決算額(千円)	759

		当初計画	中間点検・評価
①	現状(課題)とその要因	<b>【現状】</b> ◆ 子どもへの接し方が分からなかったり、子育てに不安や悩みを抱えている保護者が多い。 ◆ 保育所、幼稚園での子育て支援が求められている。 ※平成22年度の事業実施後のアンケート結果	<b>ア 正確に把握しているか</b> (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> ) 事業実施後のアンケート調査の実施により把握している。
		<b>【要因】</b> ◆ 核家族化や少子化、都市化による人間関係の希薄化等、家庭・地域の子育て力の低下 ◆ それぞれの施設で日常的に親育ち支援を行う環境が十分でない。 ◆ 多様化する保護者に対して、「保護者との関わりで悩みがある」と思っている保育者が多い。	<b>イ 十分に特定しているか</b> (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> ) 市町村訪問(7~11月)や施設への聞き取りなどを通じて、要因を分析している。
②	目標(Outcome)	◆ 保育所・幼稚園等のそれぞれの施設で親育ち支援の中核となる保育者を育成することで、日常的に親育ち支援が行われる環境を整える。 <b>【目標数値】</b> ・ 1年次研修者100名・2年次研修者100名 <b>【検証(比較)方法】</b> ◆ 育成人数 ◆ 事業実施後の保育者からのアンケート	<b>ウ 達成可能で具体的な目標を設定したか</b> (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> ) 5年間で300名の養成を目指しており、本年度の目標値100名は妥当であると判断している。 <b>エ 目標は達成されたか</b> (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> ) ◆ 本年度の育成人数の目標100名に対して、1年次修了者107名、2年次修了者108名となっており、目標値を達成することができた。 ◆ 研修後のアンケートでは、99%の受講者が「今後の親育ち支援の実践に役立つ」と回答しており、研修内容及び手法等が、参加者にとって効果的であったといえる。
		◆ 親育ち支援保育者育成研修会の実施 ・ 東部・中部・西部の3ブロックで実施 ・ 本研修は3年間の受講を要する。 1年目: 総論を学ぶ(3日)・親育ち支援の意義の理解 ・ 基本的な技能の習得 ・ 親育ち支援の企画立案 2年目: 実践交流(2日) ・ 試行事例の交流 ・ 課題解決に向けた企画再構築 (3年目: 定着を図る(1日) ・ 実践事例の交流 <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">             H22 H23 H24 H25 H26              1期生 ←————→              2期生    ←————→              3期生        ←————→           </div>	<b>オ 計画通り実施されたか</b> (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> ) ◆ 親育ち支援保育者育成研修会 ・ 東部・中部・西部の3ブロックで実施 1年次修了者: 東部 24名、中部 54名、西部 29名 計107名 2年次修了者: 東部 26名、中部 41名、西部 41名 計108名 ・ 研修内容 1年目: 総論を学ぶ(3日のうち2日実施) ・ 親育ち支援の意義の理解 ・ 基本的な技能の習得 2年目: 実践交流(2日のうち1日実施) ・ 親育ち支援計画の交流 ・ 支援計画の検討・再構築
③	実施内容(Input・Output)	◆ 親育ち支援保育者育成研修会の実施 ・ 東部・中部・西部の3ブロックで実施 ・ 本研修は3年間の受講を要する。 1年目: 総論を学ぶ(3日)・親育ち支援の意義の理解 ・ 基本的な技能の習得 ・ 親育ち支援の企画立案 2年目: 実践交流(2日) ・ 試行事例の交流 ・ 課題解決に向けた企画再構築 (3年目: 定着を図る(1日) ・ 実践事例の交流 <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">             H22 H23 H24 H25 H26              1期生 ←————→              2期生    ←————→              3期生        ←————→           </div>	<b>オ 計画通り実施されたか</b> (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> ) ◆ 親育ち支援保育者育成研修会 ・ 東部・中部・西部の3ブロックで実施 1年次修了者: 東部 24名、中部 54名、西部 29名 計107名 2年次修了者: 東部 26名、中部 41名、西部 41名 計108名 ・ 研修内容 1年目: 総論を学ぶ(3日のうち2日実施) ・ 親育ち支援の意義の理解 ・ 基本的な技能の習得 2年目: 実践交流(2日のうち1日実施) ・ 親育ち支援計画の交流 ・ 支援計画の検討・再構築
		目標達成度 <b>B</b> 「No」を選択した項目	<b>【今後の方向】</b> 「親の子育て力を高め、良好な親子関係を構築する」という親育ち支援事業の目的を実現するには、相談、助言などを日常的・継続的に実施することが重要であり、子どもや保護者に日々関わっている保育者の保護者支援力の一層の向上が求められる。 こうしたことから、今後は、保育者育成研修会等の充実を図るとともに、親育ち支援保育者育成研修会の修了生の育成フォローを実施し、ネットワークを構築する。
総合評価と今後の方向		<b>【総合評価】</b> ◆ 目標値である1年次、2年次各100名を超えることができた。 ◆ 1年次、2年次の受講者ともに99%が「今後の親育ち支援の実践に役立つ」と答えていることから、効果的な研修であったと言える。また、本研修での手法を用いた事例研修を自園で行うなど、研修内容が実践に結びついてきている。	<b>【今後の方向】</b> 「親の子育て力を高め、良好な親子関係を構築する」という親育ち支援事業の目的を実現するには、相談、助言などを日常的・継続的に実施することが重要であり、子どもや保護者に日々関わっている保育者の保護者支援力の一層の向上が求められる。 こうしたことから、今後は、保育者育成研修会等の充実を図るとともに、親育ち支援保育者育成研修会の修了生の育成フォローを実施し、ネットワークを構築する。